

特集

毛主席の死後の

ら40人逮捕の謎を解く

主席と江青の闘い

写真は右から、江青女史、姚文元氏、王洪文氏、張春橋氏、そして、新主席の華国鋒氏。



「江青が政治活動の表に出てきたのは文革のときです。その活動ぶりには、氣狂いじみたところがあった。それは過去の自分に対する反動があり、いっしょに情熱がふきだしてきたのではないかと思うんです。結婚するときはスキャンダルにつつまれて

いましたから。だから今度主席を狙ったのも……」(作家で中国問題研究家・岡本隆三氏)

「江青未亡人が王洪文党副主席、張春橋副首相、姚文元政治局員とクレータを策謀して失敗、中国当局に逮捕された——

1 “中国の巨星”の死後の未亡人の立場

56歳の彼女がなぜ“江青主席”を狙ったか

今年になって日本の新聞の一面トップを埋める中国の動きは枚挙にいとまがない。周恩来首相の死、天安門事件、毛沢東主席の死、そして今回の政変とめまぐるしい。しかし、中国政府の公式発表は、遅れるのがつねで、何やらナゾめいた動きに見える。八億の民衆の指導者の地位を争った今度の政変も、例外ではない。はたして、真相はどうか。専門家に、分析してもらった。

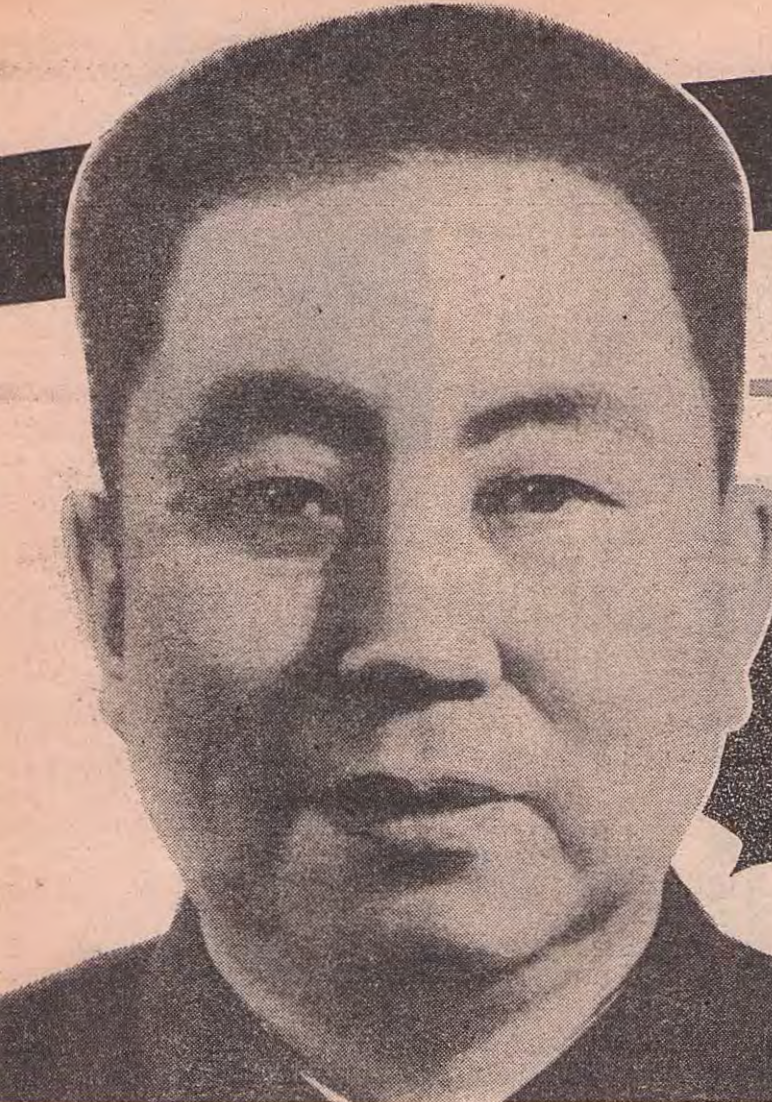
「江青が政治活動の表に出てきたのは文革のときです。その活動ぶりには、氣狂いじみたところがあった。それは過去の自分に対する反動があり、いっしょに情熱がふきだしてきたのではないかと思うんです。結婚するときはスキャンダルにつつまれて

「江青未亡人が王洪文党副主席、張春橋副首相、姚文元政治局員とクレータを策謀して失敗、中国当局に逮捕された——

緊急ワイド

江青女史

華国鋒



婚を許される。ふつう中国では夫人が政治活動をやるのは、周恩来や劉少奇の夫人のように、あたりまえだったんですが、それほど彼女には問題があったんです」(岡本隆三氏)

江青女史が上海で「藍蘋」という芸名で映画女優をしていたことはすでに知られている。彼女は日本軍が上海を占領したあとの一九三八年、延安に潜行して、そこで毛沢東氏と恋におちた。毛氏は三度目の奥さん、賀子貞と離婚し、彼女と結婚したいと党議にかける。

しかし、この結婚は女性軍に猛烈に反対された。故朱徳の奥さん、康克清などは、藍蘋の歴史を問題にした。彼女は毛主席に会うまで、かなり浮き名を流しており、彼女にふられて自殺未遂を図った男もいる。それに

政変劇の陰にいつも彼女が

江青女史が舞臺に登場してきたのは一九六二年。毛主席とインドネシア大統領夫人ハルチユ・スカルノ女史との会見に同席。やがて「現代京劇の改革」をして一躍有名に。この演劇改革は文化大革命の下地を作るもともとなり、一九六六年八月、文化大革命の開始を祝って天安門前広場で挙行された百万人集

加え、彼女は延安にくる前に重慶にいき、そこで待遇が悪く相手にされなかったもので、その後延安にきたこともわかり、いって評判が良くなかったわけです」(中国研究家・高田富佐雄氏)

最終的には、この結婚は、賀子貞が存命中は毛夫人と呼ばない、今後二十年間、彼女は毛主席の個人的な面倒をみるだけで党活動には一切関知しない、という条件付きで許され、二人は一九三九年に結婚した。

その後二十年余、確かに江青女史は表舞臺には一切出ず、毛主席との間に李納と李敏という二人の娘を生んだ。

「そうまでして毛沢東と一緒にいる彼女はなかなかの野心家です。毛沢東のその後をみこしたわけですから」(岡本氏)

会では、江青女史は毛主席と共に天安門樓上に姿を見せた。

党内序列も急速に昇進し、劉少奇を政治の舞臺から消し去った文革では、王洪文、張春橋、姚文元各氏ら、上海グループと共に政治局委員から六九年九期中総では中央政治局委員となり、彼女はいきなり五番目にランクされる。



は「國家の指導者としての肩書きをもち、左右に鄧小平、李先念、副首相を従え、さながら「江青主席」といった形で外国元首と接見していた。

そして、天安門事件で、彼女への批判が高まると、鄧小平を失脚させて、騒ぎを収めた中心的存在といわれている。

「江青は、顔形をみてもわかるように冷たい感じがする。中国の大衆の好むふくよかさが無いので、支持が得られない。彼女は毛沢東の後継者を目指したのでしょうが、支持が得られない。そこで強行手段を謀ったのでし

よう。この行動は、彼女の過去をみればわかるように、自己顕示欲の強い権力指向の性格の結果ではないでしょうか」（岡本隆三氏）

それにしても、江青女史も華国鋒氏も文革を契機に胎頭してきた指導者だった。

「文革以後に登場してきた指導者の人脈は二つ。一派は、華国鋒、汪東興、紀登奎、陳永貴各氏ら、非江青派。もう一派は、

「上海トリオ」、張春橋、姚文元、王洪文各氏ら江青派です。今回の政変は、前者と李先念、陳錫聯らの実力軍人たちが手を

2 どちらが毛路線の継承者なのか

華国鋒氏はなぜNo.1になれたか

「短髪で小太り、目つきはやさしそうで鋭く……ま、新主席の華国鋒は八億民衆をひきつけるに十分な風貌といえます。少なくとも「女優あがり」の未亡人などとは比べものにならない。

しかし、出生や、家族については、一切不明です。声は大きくて指導者としてはうってつけです」（華国鋒氏に会ったことのあるA紙記者）

今度の政変の真相はまだ明らかではないが、その「三國志」風な展開から、一つの推理を試みてみることはできる。「官軍、側は「文革派が江青主席の実現を企てた」といっているが、それは逆、つまりクーデタをやったのは華国鋒氏サイドではなかったのか、という疑いである。

「江青を主席にするためには、ヒラの政治局員から常務委員、副主席と二階級特進させねばな

愛媛県松山市 富谷 復様作

ト おやまの
モ える紅葉に
工 筆とる

このマークが目じるし

トモ工ぞろばん

握り、江青らの急進グループに勝つことになる」（某記者）
中国の民衆は、もう彼女の顔もみたくないということか。

どのクーデタは実務派、なかでも葉劍英を中心とする軍部が、毛なきあと文革派にはびこられるのをおそれて起こしたのではないだろうか」（国際問題評論家・村田晃氏）

らず、そんなことはまず考えられない。それに、クーデタをやったとされている江青や張春橋、姚文元などは、せいぜい教育、文化面に影響力を持っているだけで、いわば頭アッカチの浮き草でしょう。軍も党組織も握っていない。それは彼ら自身がちばんよく知っており、とくにモノの見える張春橋がついていて、そんな無謀なことをやるとは考えられない。だから、こん

軍はそのミコシとして「毛沢東のお墨つきをとっている」華国鋒氏をかついだ……という推測である。お墨つきといえ、未確認情報ながら「毛は息をひきとるとき、華国鋒を枕辺に呼び、後事を託した」というもつともらしい話も流れている。

この点、京大教授の竹内実氏（中国文学）も「目にもえる結果から判断すれば、華国鋒がしかけたクーデタの成功だと思ふ」という見方だ。そこで、もう一つの焦点は、江青女史と華国鋒氏の対立抗争がいつごろから始まっていたのか、という点である。竹内教授は「八月説」、

その後活動は低調になるが、七〇年四月には北朝鮮から帰った周恩来首相を空港に迎え、話題をよんだ。
「この時期は文革路線から、周恩来時代」への転換期です。江青は周恩来と力をあわせて、林彪に対抗した時期なんです。そして、翌年九月に林彪クーデタ事件が起きるんです。このあと江青は中央政治局委員のトップにランクされるわけです。これで、林彪事件の功績がみとめられたとれますね」（中田問題研究家・玉城尚氏）
故周恩来首相が病気で倒れたあとからは、七四年十月頃まで

中国共産党中央政治局の人事変遷

	八期12中総 (1968.10)	九期1中総 (1969.4)	十期1中総 (1973.8)	十期2中総 (1975.1)	鄧小平解任 (1976.4.7)	毛主席死去 (1976.9.9)	現在
主席	毛沢東	毛沢東	毛沢東	毛沢東	毛沢東	毛沢東	華国鋒
副主席	林彪	林彪 <small>クーデターに失敗、1971.9日モンゴルで墜死</small>	周恩来 王洪文 康生 葉劍英 李德生	周恩来(76.1.8死去) 王洪文 康生(75.12.16死去) 葉劍英 鄧小平	華国鋒(第1副主席) 王洪文 葉劍英	華国鋒 王洪文(逮捕?) 葉劍英	葉劍英
常務委員 (含む主席・副主席)	周恩来 陳伯達 康生 朱德 李富春 陳雲	周恩来 陳伯達 康生	朱德 張春橋 董必武 ※王洪文がNo.3に、華国鋒が政治局入り	朱德 張春橋 董必武(75.4.2死去) ※鄧小平が副主席と第一副総理を兼務	朱德(76.7.6死去) 張春橋 ※鄧小平は党籍だけ残して他の全職務を解かる	張春橋(逮捕?)	
委員	董必武 陳毅 劉伯承 李先念 徐向前 聶榮臻 葉劍英 ※江青、張春橋、姚文元は中央文革小組で活躍、華国鋒、王洪文は当時無名	朱德 董必武 劉伯承 謝富治(72.3.26死去) 江青 黄永勝(林彪事件で失脚) 張春橋 姚文元 李先念 葉劍英 葉群(林彪事件で失脚) 李作鵬 邱会作 許世友 陳錫聯	江青 姚文元 李先念(鄧小平) 陳錫聯 紀登奎 華国鋒 汪東興 呉德 劉伯承 奉国清 許世友 陳永貴 ※73年4月鄧小平が副総理の肩書きで劇的復活	江青 姚文元 李先念 陳錫聯 紀登奎 華国鋒 汪東興 呉德 陳永貴 劉伯承 奉国清 許世友 李德生	江青 姚文元 李先念 陳錫聯 紀登奎 汪東興 呉德 奉国清 陳永貴 劉伯承 許世友 李德生	江青(逮捕?) 姚文元(逮捕?) 李先念 陳錫聯 紀登奎 汪東興 呉德 許世友 奉国清 李德生 陳永貴 劉伯承	劉伯承 李先念 陳錫聯 紀登奎 汪東興 呉德 許世友 奉国清 李德生 陳永貴
候補委員	李雪峰 謝富治	紀登奎 李德生 汪東興 李雪峰	蘇振華 賽福鼎 倪志福 呉桂賢	蘇振華 賽福鼎 倪志福 呉桂賢	呉桂賢 蘇振華 倪志福 賽福鼎	呉桂賢 蘇振華 倪志福 賽福鼎	呉桂賢 蘇振華 倪志福 賽福鼎

つまり毛沢東存命中から始まっていたとみている。

「八月三日、唐山地震のあと、新華社は党からの慰問電話を発売しているんですが、これまでの毛主席、党中央という順序、表現をとらず、党中央、毛沢東同志、華国鋒同志と、毛を一番目にし、『主席』という肩書きさえとっていますからね。これをみてもこの八月段階から華国鋒が台頭していたことがわかりますね」と考えていけば、九月十八日の毛追悼大会で華国鋒氏が「マルクス主義をやるのであって修正主義をやるのでなく、團結するのであって分裂するのでなく、公明正大であって陰謀策はやらす」と毛沢東指示を引用して百万群衆に演説したのは、勝利のファンファーレだったとみただろうが筋が通る。

「江青グループとしては、江青を主席にするかどうかはべつにしても、毛沢東の権威があるうちに、自分たちを正統な後継者として認知させようとしたとしても不思議ではない。しかし、彼らは軍の賛意がえられず、公安部隊と農民をにぎる華国鋒に敗退したんでしょね。華国鋒はすでに右



公安部門と農業 問題を握った強み

その「偉大なお墨つき」を華国鋒がもらったのは、文化革命の嵐が中国全土で荒れ狂っていた

派の鄧小平を四月の天安門事件で切っており、ここで左派の江青一派を切り崩すことにより、中立の立場を明らかにしたわけでも、軍が華国鋒を支持したのも、それと無関係ではないと思います。(前朝日新聞北京特派員・吉田実氏)

主席への華国鋒の「職い」はほとんどワンサイド・ゲームだったようである。

「というより、毛沢東の力の偉大さをまざまざとみせつけられた事件です。毛沢東のお墨つきを持っている人間の強大さ、ですよ。(村田氏)

た一九六〇年代の後半らしい。当時、彼は毛主席の故郷である湖南省の幹部部にすぎなかったが、文革が進むなかで省の党書記に昇進し、メキメキ頭角をあらわしてくる。

「党書記として華国鋒は、中国全土でいちばん早く文革を收拾させ、その政治手腕が毛沢東に注目されたわけです。毛沢東は文革のさなかで、大局を展望しながら、乱世のなから優れた指導力を持った人物の登場をみつけていたんですね。その毛沢東の目に、華国鋒は鮮烈に映ったんじゃないですか。彼は毛沢東と同じ農業問題のエキスパートだし、一九五〇年代に『中国の農業をどうするか』という論文を発表し、思想的にも毛思想の体得者ですからね」(吉田氏)

文革の終結と同時に、いちやく政治局員に抜擢される。異例の人事といっている。つぎに彼が腕をふるうのは「林彪査問委員会」で、毛主席の信任はますます厚く、警察庁長官兼公安調査庁長官ともいうべき公安部長のイスにすわる。

公安部隊は一種の特務機関でもあり、反党分子の調査、取り締まり権を持っているから、自然、強力な政治力を華国鋒氏につけさせることとなった。今回「グリーデータ」でも、公安部隊

を動員したと伝えられているのは、ご承知の通りだ。

「ポスト毛の主権争いの最大の難敵であった鄧小平との勝負づけは、去年の秋の『農業は大寨に学ぶ全国集会』で、ほぼ終わっていたふしがあります。

この集会には党指導部の数千人が参加し、江青も鄧小平も演説したんですが、それは発表されなかった。その反対に、華国鋒は総括報告を行っているわけです。いまから思えば、現在の力関係を暗示しているように示唆的です」(吉田氏)

そして今年四月、鄧小平氏は天安門事件の責任をとらされた格好で副首相、副首相を解任された。華国鋒氏は第一副首相に。毛主席の命で№2になった。「私が会った感じでは、中国指導部のなかでは華国鋒がいちばん毛沢東的でした。毛

沢東の持っていた詩人的な面こそ欠けているが、その風貌、体質、発想にいたるまでよく似ています。それと現実政治家としての感覚ですね」(吉田氏)

こうして毛以後の中国のナンバーワンにノシ上がった華国鋒主席だが、毛沢東氏のように「長期政権」は可能だろうか。「私は三つの理由から、安定政権だと思ふ。第一に、第一副主席に抜擢したのは毛沢東であると公然化されていること、第二に、人口の八〇割を占める農民の支持が強いこと、そして第三に公安部隊をにぎっているからです。これに禁剣突を通じて軍をガッチリ手中にすれば、もう万全ですよ」(村田氏)

竹内教授は「軍の協力がカギになるが、事態は流動的」とみている。「いまの中国を生き延びる指導

3 米ソ超大国の出兵 大政変で 日中関係はどうなるか

「なにしろまだ情報不足でコメントするのを控えたいのですが、ただいえることは、中国の対外政策はそれほど大きな変化はないだろうということです。

いずれにしても文革派よりも実務派の方が接触しやすいし、華国鋒さんは中間的な人のようですので、日本との関係も殆んど変わらないと思えますね」(新

自由クラブ代議士・田川誠一氏) それにしても毛主席死後のソ連の対応ぶりは素早かった。「テリー・テレグラフ」が政

一人より二人…旅は道づれ。



清酒 級別 純米 清酒大関贈答券(一枚3本) 550円

ワンカップ大関

者たちは『三國志』上の人たちに似ていて、だれがいつ決断するかで様相は一変しそうな感じがあります。もちろん、こんどの華国鋒も、軍にかつがれたとかなんとかいっても、彼自身が決断したことですからね」

まだまだ中国から目は離せそうにはない。「天下大乱の相あり」といった周恩来氏はいまだ地下でどう思っているだろうか。

だんぜん役に立つ！
パリの本
1500円 講談社

国際関係論専攻の中嶋嶺雄氏(東京外国語大学助教授)によると、ソ連の最大関心事はやはりなんといっても中国人民解放軍の動き。「こんどのグリーデータで、この人

★次週は豪華企画の特大号です 発売10月25日 特価180円



▲パプアニューギニア首相と会談する華主席

民解放軍が文革左派につかなくなつたことで、ソ連は和解の姿勢を強めようとしているとみえます。ソ連は一年くらいの期間をおいて反応をみようとする。そこで、対ソ戦略の変化があれば中ソ和解ということもありま

貿易は一時的な混乱ですむ

ところが、この米ソの動きに較べて、わが日本のなんとノンビリしていることか。外務省筋によると、北京の政変をキャッチしたのは十日午後「それも北京の大使館からじゃなくて、他の国の大使館筋からというから、日本の外務省の情報収集や分析能力ときたら、米ソはおろか英仏と較べても大人と子どもほどの違いですよ(外務省詰め某記者)

こんな具合だから、外務大臣の小坂徳三郎氏にしても、中国情報を掃国した藤山愛一郎氏からきいて、あらためて考えているといわれる始末。隣国日本にとって、さし当たつて重大な問題は懸案の日中平和条約もさることながら、当面はまず日中貿易が政変によってどうなるかだ。

まだ、どんな動きがあるかわかりません。外交もこれに左右されますね(中嶋氏)だとすると、中国はまだまだ政変が予想されるというわけだ。この動きをわが方に有利にと読んで、米ソは微妙な外交攻勢を展開していたということになる。まさに機をみるに敏なのだ。

日中貿易は国交回復いらい、三年間で約四倍も急伸した。今年も秋の広州交易会が、この十五日から一ヶ月間開かれる予定で、日本から商社、メーカーなど千五百社、二千五百人が参加することになっている。だが、日中貿易の窓口である広州交易会は、中国に政変が持ち上がると、カゲリがさすのがつね。ついこのあいだの四月の春の交易も、突然起こった天安門事件で中国側が何となく熱意を欠き、成約高は国交回復いらい初めて前回の下回りという不振に終わった(二億七千万)。

十一月には二六割減と落ちこんだものだった。しかも中国から日本に輸入されるはずだった原油も、四十五万、のうち二十万をカットすると一方的通告。日本側を大いに慌てさせた。「しかし、これはあくまでも政変があったときで、今回もその意味では一時的な混乱し、停滞するかもしれないが、長期的にみれば実務派が主流を握ったことで、かえって貿易は拡大すると、われわれは楽観しています。というのも、中国指導部の左右の対立を図式的に捉えれば、政治優先か、経済優先かの違い。これを別の角度から見れば、自力更生路線」と、国際化路線の争いである。

そしていうまでもなく江青を頂点とする文革派は、政治優先路線をとる危険性があった。しかし、彼女らが消えた。まさにその意味で日中貿易の前途は明るさをましたというわけだ(某大手商社員)

だが、国際化となると貿易面でも他国が指を咥えて見ているはずはなく、これからは中国をめぐって外交、経済両面でいよいよ熾烈な国際競争が激化しそうです。せめて外務省の情報網だけでもしつかりしてくれなければねえ。

便利な家庭用のミニ印刷機!!

★年賀状やカード・案内状何んでも手軽に印刷できる

●ハガキサイズの印刷に便利な新タイプの贈写板

●ヤスリ板や鉄筆もいらす。原紙にボールペンで書くだけで数百枚のきれいな印刷ができます

●技術もいらず、地図やイラストなどの細かい線を入れるのも簡単にできます

●付属の5色カララインクを使えば、カラー印刷もできます

●年賀状やカード・伝票印刷案内状や通知書など……利用範囲も広く、今大評判のミニ印刷機です

★ヤスリ板や鉄筆もいらす。だれでも簡単に印刷できます

クワ250ccコロ30日 重量1kg

▼価格!送料共7,000円 (5色カララインク・付属品一式付)

●商品名を明記し、左記へハガキ又は電話でお申込み次第、代金引当郵便で発送します。代金はお近くの郵便局で、商品と引替にお支払い下さい。

●受取後、一週間以内の返品は自由です。原紙などの消耗品は補充できます。

▼あて先▲

〒158 東京玉川局私箱第37号
弘報堂印刷機 現代係
TEL03(727)8746
東京都世田谷区奥沢1-150-1 茂木ビル

ニュープリンター

今年最大の朗報！「長島巨人」V1までの記録で綴る200日

M8の大地震と宣言された駿河湾周辺はどうすべきか

戦後最大の攻防「ロッキン」疑獄総選挙、我々は誰を落とすべきか

いまどき珍しい「怒る部課長」12人の仕事と人生

表紙撮影／秋山庄太郎
モデル／吉沢京子

10月28日号/目次
現代週刊

男と女の事件簿 **工ッチな個人授業**で追放された先生

CIAと私③ノーマン・メイヤー

放駒金星対談／泉アキ

新しうぼん 人研究 **千秋実**、二年半の夫婦闘病記

特別読物 **サントロリー**の冒険 最終回

松尾和子など美女タラの店18

米国から「上陸」 **ミミミブス**利殖って何だ

168	172	72	52	146	156	182
壹捕り傘次郎…小池一夫/小島剛夕…95	◎朝 鮮 戦 争…児島 襄…162	◆青 春 の 門…五木寛之…62	◆女 び ら き…宇能鴻一郎…82	◆浄 瑠 璃 寺 の 雨…加堂秀三…134	◆革 命 へ の 挽 歌…麻生良方…128	◎花岡太郎の欧州アフターダーク…58
□飯 島 清の「政治家を裸にする」…48	□こ も ん せん す…江 藤 淳…152	□サ ラ リー マ ン 四 季 報…143	◇話 題 人 間 告 知 板…51	◇現 代 プ ラ ザ…123	◇日 本 遠 望…71	◇ざ つ だ ん…116
◇シ ー し ん く ク イ ズ…167	◇う ま い も の 屋…91	◇オ レ は オ バ ケ だ ぞ…180	◇い ろ め が ね…190	◇サ ラ リー マ ン 専 科…78	◇う ち の ヨ メ は ん…50	◇グ ラ フ ア ラ ブ・ゲ リ ラ 公 認 処 刑 / わ が 家 は 只 今 30人

宇都宮徳馬特別手記「なせ私は三木武夫に絶望したか」

三井物産がボリナスを15対パーセント以上出せる好成績80社

56歳の彼女がな江青主席を狙ったか／華国鋒氏はなNO.1になれたのか

緊急ワイド
華国鋒主席と江青夫人の闘いの謎を解く